

生物学に燃える探究心

-科学教育振興助成成果発表会東日本大会-

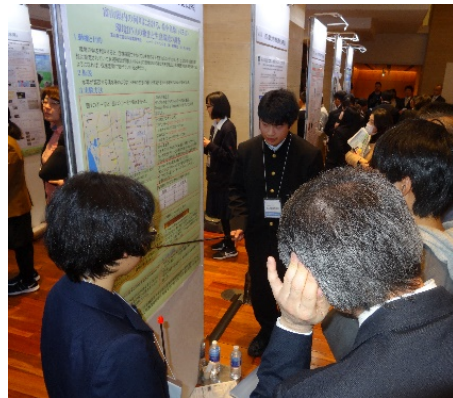
◇期 日 令和元年 12 月 26 日(木)

◇場 所 東京大学本郷キャンパス内 伊藤国際学術研究センター(東京都文京区)

◇参加者 草野剛志(21H)・村上明日海(14H)

◇指導者 SS 生物部顧問 真野佳余先生

SS 生物部が昨年度から継続研究している環境DNAを用いた実験は、今年度、公益財団法人中谷医工計測技術振興財団より科学教育振興助成金をもらっている。今回その研究の成果発表会に参加した。この大会では、東日本を中心にした高校や中学校、さらに小学校など、助成を受けている52の研究、100人以上の研究者が参加した。本校は「富山県内の河川における、希少魚類「トミヨ」の環境DNAの検出と生息環境の調査」という題目でポスター発表を行った。



発表会の前に、オートファジーの仕組みの解明により、2016年にノーベル生理学・医学賞を受賞された大隅良典先生による「研究の楽しさ～細胞が生き抜く仕組み～」という演題の特別講演が行われ、生物学者だからこそ伝えることができる生物学の面白さを知り、関心を深めることができた。

初めての東京大学での発表会であったが、大勢の生徒や先生方の前で、緊張せずに発表でき、質問に答えることができた。他の発



表を聞き、今後の研究へのヒントを得ることができた。発表会後の情報交換会では、研究内容が類似した生徒同士で、実験などのアドバイスなどを交わした。

今回の発表会に参加して、生物学の面白さをより深く知ることができたと同時に、研究を支えてくれた方々への感謝の想いがこみ上げてきた。これからもこの気持ちを忘れずに、探究の志を持ち続け研究に取り組み、成果を上げていきたい。